



『新NISA制度について』

こんにちは。ファイナンシャル プランナーの中澤です。

今年からNISA制度が改訂されたことで、投資信託や投資の市場もますます活発になってきています。

今回は国の優遇制度の特徴を簡単に、まとめて説明させていただきます。

そもそもNISA制度とは？

NISA制度は、**単なる投資信託を入れる箱（＝優遇制度）**にすぎません。

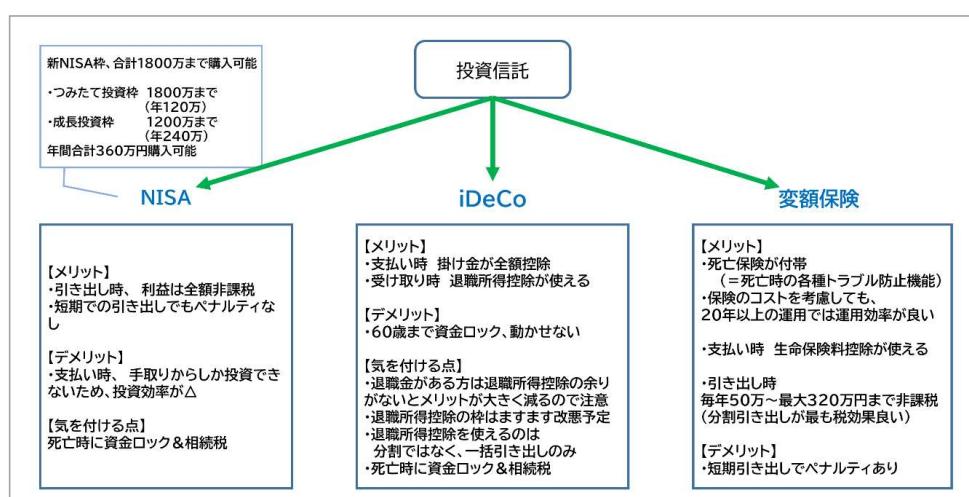
皆さんが普通に投資信託を購入されると、**利益に対して20%の税金**かかるところ、

優遇制度を使って投資信託を購入することで、税金面、保障面など、様々な特典が得られます。

3つの箱の違い

NISAを含めて大きく3つの箱（＝優遇制度）があります。
どの箱を使うかによって、付帯する特典が異なります。

それぞれのメリットデメリットや、おすすめのケースについて下の図で解説させていただきます。



各制度のおすすめの利用方法

■NISA…中期的な貯蓄（10～15年）

⇒教育資金や事業資金、生きている間に必ず使い切ってしまうお金

■iDeCo…自営業者や退職金のない方向け。

⇒退職金代わり、60歳以降に一括引き出し

■変額保険…長期的な貯蓄（15年以上）

⇒教育資金や老後資金、途中でご自身に万が一が起こった際にご遺族にすぐに渡したいお金。

まとめ

NISA、iDeCo、変額保険はあくまでも投資信託の入れる箱の違いにすぎません。

①何のための貯蓄か？

⇒運用可能な年数が何年あるのかによって、箱の選び方が変わってきます。

②その箱にどんな投資信託をいれるか？

⇒約3000種類ある投資信託のうち何を選ぶか、カテゴリーや各ファンドの運用方針、数%の平均リターンの違いによって資産の未来は大きく変わってきます。

上手な箱、ファンド選びのお手伝いをさせて頂きます。

- ・投資に関する相談
- ・相続に関する相談
- ・保険の見直し
- ・住宅ローンの借換
- ・結婚、出産等による環境変化の相談
- etc.

お金に関するご相談何でも承ります。
大切なご家族様、ご友人様をご紹介ください。

著　者／中澤 賢一
保有資格／投資診断士 相続診断士
ファイナンシャルプランナー
M A I L ／fp.nakazawa.kenichi@gmail.com
T E L ／080-7359-4129